

繪本
熊本太平記
初号
下卷



篠田仙果編
梅堂國政画

榮久堂板

繪本熊本太平記

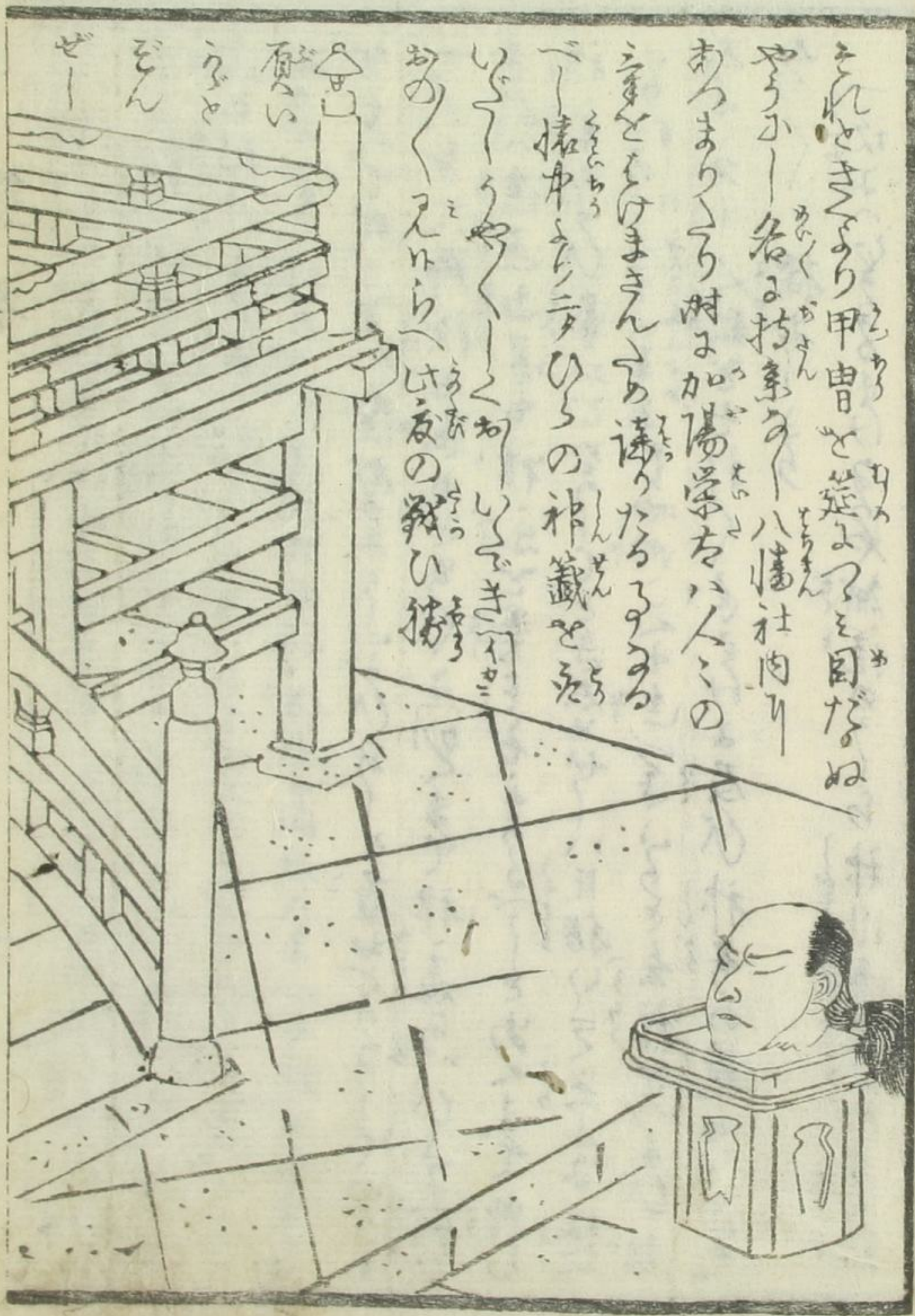
是より舟二号ハ山口棟のぞく長前原横山等長
物萩子おひてめ戦ひよりりその黨の親そくの
うち自さつあして釋世をよそめころしたるより
全く錯謬といふ中てと虫志がぬ

熊本太平記下の巻

再ひと、林風連（おんかぜ）の兜徒ら（かぶと）のねて左の興（おこ）又と八
才（さい）一（いち）を分別（ぶんべつ）あるは志（し）どもと煽動（せんどう）せりそのうまいまく
それ徳義（とくぎ）射雁（しゃえん）の役（やく）るや互短（たがひ）を補（おぎな）う一方氏（ひと）と保全（たも）し
とあまろ治安（ちあん）の任（にん）を尽（つく）すべきのころ却（かえ）て醜（みにく）悪（わる）まそまより
固有（こゆう）の刀劔（とうけん）を兼（かね）しむを不（ふ）教（がう）のまひらと徳源（とくげん）すしり
神皇（かみみ）の玉去（たま）をかきふりまこく内地（うち）に難（がた）をせしめんとするのこ
あきくこのよてまの大道（だうだう）を乃（な）作（さ）人も小怒（せうど）とこころの玉織（たま）する
こときり不無（ふむ）とまござるありあつて我（われ）ども臣（おみ）そのまこと雌（め）伏（ふ）
ふ恐（おそ）びむ上（かみ）ハ玉体（たま）ふしぎの命（いのち）危（あや）難（しやう）とせせきにてまろり下（した）ハ
万民（ばん）塗炭（とたん）の若（わか）しみやこころんたえりこころ作（さ）勅（とく）を奉（ほう）し諸（しよ）玉（たま）の

熊本

九



これとまきより甲冑を冠よつと目なるぬ
 やうふ一各も持事あり八幡社内り
 あつまりこり耐に加陽宗をいんこの
 こととまきまきんこと講りたるもの
 一掃中をリテひらの神蔵をた
 いてしるうく一とわいしでまきり
 おのくえけり一は友の戦い持

めい
 どん
 ぜー



同歩とまきをむせにありいれは神助せりの皇室をいさく世
 きたをひくうんとはと士君も誰り 神皇度載
 の神皇活はざるもの一と四民有志の遊手
 はふ珠内子きてる皇室の内とめ
 名珠朝勅とれあつきものあり
 但し九ひの友まは文武と
 とと巨魁とみあー
 教もまきとあもー
 罪とこやを降伏いすれが
 時宜とありじ古はみ餘り
 一むるのあり

け廻るよりて目させく一途往ども用さへるぬてそのひこれを



時斗十三村やうあまらとふやーきの表儀とらてアハ
 との考をびーれが何ゆるやとかもふひまふ
 暴徒ぼうといの布ぬづへたときー人徒とそぎり
 板大いらく一つきりりりていひと人ひきりりれ
 一ひふす様も帯おびぎれば一い同素中を逆徒さか
 よむひも捕とらせんともさるりーかま村に
 新九初しんく一人の紙かみとらて扱あつかひて身み二人
 ヨムズとくさつとみあひーが区く
 くらへる兇徒けうと
 とも子斬きりうけ
 られて一い至傷いたを負お



これハあそと
織のこも斬がいされなり

一 次子小豆原
同内大臣
暴徒の
御
暴徒
一
御
御

とぞ又種田
破り火と
後者せられ
四の許子
俄く
最幼のて
くこ
ゆの
さて又結
百廿
く
れくハオ
第二園

二

二



第一中隊より第二中隊第三中隊をけんてするひども
六橋をんと燃上まり○一説に隊中一隊を味せしめ
あつて若中(叔火)とてまて脱走するまで約書の知るもの
三百人ありといひされど一説に証とあつて○むちのトより先
佐りハ(きき)の麻あ布之わりカのされ味てあつてはり
れいせに去るの役もことせん及とカとそ一云士は捕縛せり
すといふといふと討てしむるればその苦戦するところ
大尉中江大尉、松村中尉、坂本中尉、尾中尉、重友軍吏
別松平中尉とちり士友二十七名と去るを十名と討死す
陸舌大尉、福永大尉、中尾中尉、奥山軍吏、橋、佐竹中尉の人
人いづれもてきつと更られまて終本中尉ハはれまらるるまで十
の種とす軍中とてえまるかーの鬼徒りをそひれしむ大若

云士とせりていづつと先不進に細りて滅法四五名切り
ふせば云士もこれな守とせけりて玉はるひひまされバ務地
遂にまてを屠るなりき伏れば暴徒容易に進ぐと云れは云士
子死傷の志あまき滅法二十餘人と討とうとせり又所の人
地を奪ふさびぐく火のきつんあつてはるへハ二三年の法
を奪ふ士と士友もむき云士と大と相あしむるはあつた
可うんと深く深くくさむあつてまて友友ハ人のまてはる
防のちあつとせんを強奪を埋めせり究法も提灯目あつ
ふいとらあまき暴殺されしとまんら同を電信馬ハ六人の
究法知りては二名をちあつたも同知権中隊長又保長
地租改正のころ福永尉のきつひは出張ありとては凶悪とす
そのころ福永尉の電信馬より法方へ通信せられしは東京



細川義隆の
 一、
 二、
 三、

二十日、
 右の凶人、
 一、
 二、
 三、

天昭

神

風

運



神風

其の^上の^中に^一 光徳八名ありけり^一 五名の^一 あは^るる^者なる^者に^一
れ^者は^功力^があ^りなる^者と^{あり}し^を也^と 神^のま^しり^の後^に有^る ぶ^ん光^の徳^をと^り
て^はし^める^者と^{あり}て^は切^り取^られ^しを^きん^の若^き時^にと^りて^はる^る者^となり^し
は^た去^りて^はな^しじ^に〇^のま^に光^の徳^の巨^魁工^野庵^をば^はつ^たへ^る生^ま
れ^しとも^に死^せし^{とも}も^つて^は死^のあ^りる^者の^死の^流さ^りん^ん
誠^の徳^のあ^る者^にも^なり^しに^も死^せし^{とも}も^つて^は死^のあ^りる^者
と^{なり}し^者と^{あり}たる^者の^あり^しも^もち^に死^のあ^りし^者
と^{なり}し^者あり^し
此^の者^はあ^らう^に次^編編^子八^の月^の誠^徳増^起り^{あり}ん^ん
信^の長^のつ^とる^者と^{あり}て^はく^々集^録あ^らせ^しる^者と^{あり}し^者
ゆ^えに^は厭^とが^らず^{あり}ん^ん
然^らず^も平^正下^の巻^終

明治九年十一月廿四日出版御届

下谷上野町二丁目十二番地
編輯人 篠田久次郎

新葭町二番地
出版人 山本平吉

尾内
定價

010190509392

山幸何人常...

結...

...

...

...